

1. 衛生検査所の登録状況

(1) 衛生検査所登録数（平成29年4月1日現在）

93施設（うち公立1、民間92）

(2) 過去3年間の推移（各年度4月1日現在）

平成26年度83施設 平成27年度86施設 平成28年度85施設

2. 平成28年度中の変更内容（内訳：2ページ参照）

(1) 新規登録 11 施設 （うち移転等による登録2施設）

(2) 廃止 3 施設 （うち移転等による廃止2施設）

(3) 変更 35 施設 （管理者の変更等）

平成29年4月1日現在

3. 登録している検査業務別の衛生検査所数

（単位：か所）

登録している検査業務		生化学	血清	血液	微生物	病理	寄生虫	血清分離のみ	RI使用
衛生検査所数	平成28年度	46	50	48	30	27	19	8	2
	平成27年度	45	48	47	28	25	20	8	2

平成29年4月1日現在

4. 検査業務の登録数別の検査業務数

（単位：か所）

検査業務登録数	登録数6	登録数5	登録数4	登録数3	登録数2	登録数1	血清分離のみ	合計
衛生検査所数	8	4	6	25	12	30	8	93

5. 平成28年度精度管理調査（オープン調査）参加施設の状況

（単位：か所）

参加区分	生化学	血清	血液	微生物	寄生虫	細胞診			病理	
						実施状況調査	婦人科	咳痰	実施状況調査	ブロック
衛生検査所数	40	41	44	20	17	16	16	15	18	16

平成29年度 衛生検査所精度管理調査等計画表

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
委員会日程		5月30日 火曜日 第一回検討委員会 第一回検討専門委員会					10月中旬 第二回検討専門委員会		12月中旬 第三回検討専門委員会		2月5日 月曜日 第二回検討委員会	
検討事項		調査の実施計画 調査項目 調査方法	調査票 調査方法				報告書の原稿依頼 調査結果の点検・評価		特別監視施設の選定 精度管理講習会(案) 調査結果報告書(案)		精度管理講習会要領 調査結果報告	
実施事項		5月30日 火曜日 第一回監視指導 専門委員会	6月中旬 検体容器等収集	6月下旬 ブラインド調査一回目 協力医説明会 試料配布	7月中旬 ブラインド調査二回目 試料配布	7月下旬 ブラインド調査三回目 協力医に資料配布	7月下旬 オープン調査 衛生検査所説明会 試料配布		12月初旬 報告書原稿の提出	1月下旬 第二回監視指導 専門委員会 報告書まとめ		3月16日 金曜日 13時から 都民ホール 精度管理講習会
		[監視実施計画]		6月～8月 [特別監視]				9月～10月 [定例監視]				

平成28年度精度管理調査結果及び監視指導結果に基づき選定された
平成29年度 特別監視指導対象 10 検査所の選定理由

-
- 1) 施設A (H24)
選定理由: 血算(オープン:白血球数、血小板数 管理限界線外、網赤血球数 桁間違い)
PT(INR) (HE5:目標値より15%以上乖離)
血清学(オープン:Rh(D)血液型で陰性を「D⁺」と判定)
その他: 血清学(HBs抗原検査:弱陽性の試料を陰性(イムノクロマト法))
-
- 2) 施設B (H28)
選定理由: 血液像(標本の白血球分類で44%を異常リンパ球と回答)
-
- 3) 施設C (H23、27、28)
選定理由: 生化学(オープン:HbA1c 許容限界線外)
血清学(オープン:ABO血液型、「抗体なし」でO型と回答)
その他: 血算(オープン:血小板数、網赤血球数 管理限界線外)
-
- 4) 施設D (H24、28)
選定理由: 生化学(ブラインド:尿酸、クレアチニン 許容限界線外)
血算(ブラインド:多項目で管理限界線外)
血液像(骨髓球を前骨髓球と回答)
-
- 5) 施設E (H26)
選定理由: H28年度監視指導の結果から(指導事項が多い)
生化学(オープン:電解質(Na, Cl)、ブラインド:γ-GT 許容限界線外)
-
- 6) 施設F (H28)
選定理由: H28年度監視指導の結果から
(微生物検査室の設備構造、精度管理状況、持込検体の測定精度)
その他: 生化学(ブラインド:クレアチニン、許容限界線外)
血算(オープン、ブラインド:白血球数、血小板数 管理限界線外)
-
- 7) 施設G (H27)
選定理由: 血算(オープン、ブラインド:ヘモグロビン濃度、ブラインド:多項目管理限界線外)
-
- 8) 施設H (H28)
選定理由: 微生物学(ブラインド:百日咳菌不検出)
その他: 生化学(ブラインド:クレアチニン、許容限界線外)
-
- 9) 施設I (H20、21、23、24、26、28)
選定理由: H28年度監視指導の結果から(持ち込み検体結果への対応など)
その他: 血算(オープン、ブラインド:網赤血球数 管理限界線外)
H27年度精度管理調査結果(血液型の判定)について、意見あり
-
- 10) 施設J (H20、21、22、24、25、26)
選定理由: 微生物学(ブラインド:百日咳菌不検出)
その他: 生化学(ブラインド:クレアチニン、許容限界線外)
血算(ブラインド:ヘマトクリット値、MCV、網赤血球数 管理限界線外)
血液像(多染性赤芽球を正染性赤芽球、後骨髓球を好中球桿状核球と回答)
-

()内は、平成20年度以降の特別監視指導実施状況を示す。